

山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川			
梨野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野	野野			
直接事業ヲ爲ス外郡農會ノ小麥販賣統制事務擔當職員設置助成	郡農會ノ小麥販賣統制事務擔當職員設置助成	同	直接事業ヲ爲ス	郡農會ノ小麥販賣統制事務擔當職員設置助成	直接事業ヲ爲ス	郡農會ノ小麥販賣統制事務擔當職員設置助成	直接事業ヲ爲ス	郡農會ノ小麥販賣統制事務擔當職員設置助成	直接事業ヲ爲ス	郡農會ノ小麥販賣統制事務擔當職員設置助成	同	同	同	直接事業ヲ爲ス(専任職員設置)	郡農會ノ小麥販賣統制事務擔當職員設置助成	同	同	同			
四〇、〇〇〇俵			八三、四一〇石		一八、二七〇石		一五、五〇〇石		三五、〇〇〇石					三三三、五三二俵							
三	五	五	六	四	三	三	四	三	二	二	三	二	二	三	二	四	四	六	六		
東八代、中巨摩、北巨摩、東筑摩、更級	小縣、東筑摩、更級	稲葉、下高井、安八、本	東春日井、西春日井、中島、碧海、渥美、八名	栗太、蒲生、愛知、犬上	三島、泉北、北河内	磯城、北葛城、生駒、添上	海草、那賀、日高	東伯、西伯	能義、美濃	佐伯、御調、深安	都濃、吉敷	名西、美馬、阿波、名	東川、木田、小豆、香川、綾歌、仲多度	新居、越智、宇摩、東	香川、高岡、幡多	嘉穗、宗像、朝倉、筑紫、三井、三浦、山門、企救、築上、粕屋、八女、三池	三養基、神崎、佐賀、小城、東松浦、杵島、藤津、東彼杵、北高來、北松浦	西國東、東國東、大分、大野、下毛、宇佐	南那珂、兒湯、北諸縣	鹿兒島、排宿、川邊、日置、薩摩、伊佐、嘯吟	
不詳	四八、五八〇石	二九、五〇〇石	五二、一四三俵	一九、七二〇石	一二、八〇五石	三六、八〇〇石	三六、八〇〇石	一〇、六〇三石	三、六〇〇石	三〇、〇〇〇石	一九、八四〇石	五、二八九石	八八、〇〇〇石	九、七〇〇石	七、八〇〇石	一八七、〇〇〇石	九一、三〇〇石	一八、一三九石	五二、四三八石	一九、四四〇石	一六五、〇〇〇俵

愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿兒島	計
同	同	同	同	同	同	同	同	同	
同	同	同	同	同	直接事業ヲ爲ス	郡農會ノ小麥販賣統制事務擔當職員設置助成	同	同	
					八八、〇〇〇石				三六三、五三俵 六六、〇六石
四	三	二	七	三	六	三	七	七	一五六
新居、越智、宇摩、東	香川、高岡、幡多	嘉穗、宗像、朝倉、筑紫、三井、三浦、山門、企救、築上、粕屋、八女、三池	三養基、神崎、佐賀、小城、東松浦、杵島、藤津、東彼杵、北高來、北松浦	西國東、東國東、大分、大野、下毛、宇佐	南那珂、兒湯、北諸縣	鹿兒島、排宿、川邊、日置、薩摩、伊佐、嘯吟			
九、七〇〇石	七、八〇〇石	一八七、〇〇〇石	九一、三〇〇石	一八、一三九石	五二、四三八石	一九、四四〇石	一六五、〇〇〇俵		三六三、五三俵 六六、〇六石

第八 調査 及 研究

小麥増殖奨励上必要ナル施設ニ付テハ前述ノ如ク本省ヨリ道府縣及其ノ他ノ團體ニ對シ奨励金ヲ交付シテ之ヲ實施セシメツ、アルガ小麥改良増殖上特ニ基礎的調査研究ヲ必要トスル重要事項ニ付テハ昭和七年度以降本省農事試験場其ノ他適當ナル研究機關ニ委託シテ之ガ調査研究ヲ行ハシメツ、アリ其ノ概要左ノ如シ

調査研究機関	調査研究事項	事業創始年度	経費	
			昭和七年度	昭和八年度
農林省農事試験場	小麦ノ格付ニ關スル調査研究 商品トシテノ小麦ノ分類ニ關スル事項 小麦ノ等級構成ニ關スル事項	昭和七年度	一、四二〇 <small>円</small>	二、一〇〇 <small>円</small>
千葉縣農事試験場	小麦赤黴病豫防ニ關スル試験 赤黴病菌ノ蕃殖ト温度及湿度トノ關係 赤黴病菌ノ殺菌劑ニ對スル抵抗力試験 赤黴病菌ノ發病時期ニ關スル調査並ニ試験 赤黴病菌ノ生活力ニ關スル調査並ニ試験 赤黴病菌被害小麦ノ發芽力ニ關スル試験	昭和七年度	四〇〇	四四〇
東京帝國大學農學部	小麦ノ各種銹病及萎縮病ニ關スル研究 銹病ニ關スル研究 各種銹病菌ノ分布ニ關スル調査 麥品種ノ各種銹病菌ニ對スル抵抗力 ニ關スル試験 各種銹病菌ノ蕃殖ト温度及湿度トノ 關係試験 各種銹病菌ノ中間寄主及第一次傳染 ニ關スル研究 萎縮病病原ニ關スル研究	昭和七年度	三、四六〇	二、六五〇
財團法人大原農業研究所	小麦ノ貯藏ニ關スル試験研究 小麦ノ貯藏ニ關スル試験 小麦ノ乾燥、貯藏並ニ乾燥程度及貯	昭和七年度	九二五	二、五〇〇
				二、五一〇

調査研究機関	調査研究事項	事業創始年度	経費	
			昭和七年度	昭和八年度
岡山縣立農事試験場	小麦ノ萎縮病及條斑病ニ關スル試験 病害防除ニ關スル試験 種子及土壤ノ消毒ニ關スル試験 輪作ニ關スル試験 播種期ト發病トノ關係試験 土壤ノ乾濕及温度ト發病トノ關係試 驗 肥料ノ深淺ト發病トノ關係試験 耕種ト發病トノ關係試験 品種ト發病トノ關係試験 被毒麥程並ニ株ノ處理ニ關スル試験 調査研究 萎縮病及條斑病ノ分布ニ關スル調 査 病原並ニ發病經路ニ關スル試験 病原ノ種子、麥稈、株及土壤中ニ於 ケル生活力ニ關スル試験 病原ノ温度、湿度並ニ藥劑ニ對スル 抵抗力試験 麥以外ノ禾本科植物ニ對スル感染力 ニ關スル試験	昭和八年度	—	(二、八〇〇)
福岡縣立農事試験場	小麦黄色斑點病防除試験 病原ニ關スル研究 分布並ニ被害ニ關スル調査	昭和九年度	—	(二、八六五)

附録ノ一

環境ト發病トノ關係ニ關スル試驗及調査
品種ト發病トノ關係試驗

計				
	六、二〇五	七、六九〇	六、九〇〇	

備考 經費ノ欄中()内ハ獎勵金ニシテ岡山縣ノ分ハ小麥育種地方試驗ノ一部トシテ又福岡縣ノ分ハ一般小麥増殖獎勵事業
中地方的特殊事業トシテ實施中ノモノナルモ參考ノ爲本表ニ記載セリ

附 録
ノ
一

計	環境ト發病トノ關係ニ關スル試驗及調査 品種ト發病トノ關係試驗				
			六、二〇五	七、六九〇	六、九〇〇

備考 經費ノ欄中()内ハ獎勵金ニシテ岡山縣ノ分ハ小麥育種地方試驗ノ一部トシテ又福岡縣ノ分ハ一般小麥増殖獎勵事業
中地方的特殊事業トシテ實施中ノモノナルモ參考ノ爲本表ニ記載セリ

一 道府縣ニ於ケル小麥増殖獎勵事業關係技術員ノ官職及氏名

(昭和十年三月現在)

道府縣	小麥増殖獎勵事務		小麥原種圃專任技		小麥採種圃指導		小麥育種地方試驗專任技術員	
	官職	氏名	官職	氏名	官職	氏名	官職	氏名
北海道	農林技師	高野 重一	農林技師	藤根 吉雄	農林技師	舟茂 宜雄	農林技師	後藤 星川
青森	同	竹内 久藏	同	中村 誠助	同	同	同	淺沼清太郎
岩手	同	猪狩 仁三	同	大矢 勇	農林技師	稻塚權次郎	農林技師	淺沼清太郎
宮城	同	阿部 謹吾	同	毛利 岱吉	同	向井一二三	同	淺沼清太郎
秋田	農林技師	高橋 茂	同	山田隆之助	同	會田賢三郎	同	淺沼清太郎
山形	同	北 眞藏	同	高橋祐治郎	同	廣岡 廣一	同	淺沼清太郎
福島	農林技師	白木八十二	同	本橋正太郎	同	小林 政明	同	淺沼清太郎
茨城	同	藤平 重信	同	岩崎 勝直	同	伊藤 信之	同	淺沼清太郎
栃木	同	田中 武夫	同	伊藤 豊夫	同	阿部 廣明	同	淺沼清太郎
群馬	同	新野 水作	同	西河 友一	同	小島 一政	農林技師	福本 嵩
埼玉	同	何木 重治	同	野村 盛久	同	伊藤 祐信	農林技師	福本 嵩
千葉	同	筒井順太郎	農林技師	高松倉次郎	農林技師	伊藤 祐信	同	福本 嵩
東京	同	山口 尹市	同	高橋 忠治	同	百海貞太郎	同	福本 嵩
神奈川	同	奥山 元吉	同	山川福之助	同	中村 稔道	同	福本 嵩
新潟	同	西村 強	同	西山茂平次	同	小林 裕郎	農林技師	福本 嵩
						德田 善盛	農林技師	福本 嵩
						瀧島 英策	農林技師	福本 嵩

山口	廣島	岡山	鳥根	鳥取	和歌山	奈良	兵庫	大阪	京都	滋賀	三重	愛知	静岡	岐阜	長野	山梨	福井	石川	富山
農林技手	同	農林技師	同	農林技手	同	同	農林技師	農林技手	同	同	同	同	同	同	同	農林技師	同	同	農林技手
吉田 正人同	熊田 重雄同	黒住 宗市同	寛 泰雄同	砂口 行衛同	坂本 健吾同	宮崎 重雄農林技手	長尾善治郎農林技師	鳥井實太郎同	森 熊三同	野洲 九郎同	龜田 孫六同	織田 武市同	古賀 重壽同	北川 尹行同	袴田 法司同	笹川 孝助同	西田佐右衛門同	山崎 利七同	館谷 豊吉農林技手
橋口 俊教同	三藤 克己同	藤原幸太郎農林技手	岡野 重朋	中島 榮同	山田 正一農林技手	中尾 恭三(地方費)縣技手	松崎 忠義農林技手	乾 信一	松田 盛行同	池田 好臣同	田中 正道同	竹内 千里同	村上 博靖同	宮島 恒平同	岡田 吉治同	都築 祐藏同	西田彌左衛門農林技手	小林 三雄	藤田 善彌農林技手
又野 孝次	川上 計中	横田 英同	谷口 武雄	矢野 義一	森田 正義農林技師	太田儀八郎	波多野 進	四方田芳市	井樋 信雄	東 駿次	杉山萬四郎農林技師	川田 長衛	淺野鐵次郎	三村 一甫	窪田丙午郎	高橋 勝藏	伊藤 薫		
		竹上 靜夫同			山崎 義人		波多野 武												
					農林技手														
					三代 良信														
					渡河 一男														

鹿兒島	宮崎	大分	熊本	長崎	佐賀	福岡	高知	愛媛	香川	徳島
同	同	同	同	同	同	農林技師	農林技手	同	同	農林技師
河野丑之助農林技師	富田 龜藏農林技手	桑 仁之助同	木村 茂農林技師	石田 勘助同	志水 一雄農林技手	奥村 利雄農林技師	三國 佐雄同	家村 守一同	下山 長次同	鎌田 理一同
岡村 淑一同	門口幸三郎同	石井三十郎同	坂本 謙平農林技手	小川 光重	植松 芳雄同	高橋道太郎同	森岡 孝基同	宮内憲二郎同	下井 武夫同	瀧口 義資同
生野 正一	大山 美由農林技師	矢野 種樹	前田 茂雄	鳥崎不二夫農林技師	毛利 克己	西村 保雄	鹽見伊三郎農林技師	榎本 速男	明石 周一	
	松下 信雄			石川喜三郎		神崎 章				
	農林技手			農林技手		農林技手				
	細田福三郎			野津原 通		黒子 好夫				

二 小麥育成新品種ノ來歴、特性及成績

一 小麥農林一號

(1) 來 歴

「小麥農林一號」ハ大正十年農商務省農事試驗場ニ於テ「白達摩」ヲ母トシ「ベルベット」ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ大正十五年其ノ雜種第五代種子ヲ岩手縣立農事試驗場ニ於ケル農林省委託小麥地方的

試験ノ供試材料トシテ配付シ爾來同試験地ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和三年十一月「東北三號」ナル系統名ヲ附シ關係縣ニ配付シ其ノ地方的適否ニ關シ試験ヲ行ヒタル結果成績優良ナリシヲ以テ昭和四年九月「小麥農林一號」ト命名セルモノナリ

(2) 特性及成績

本品種ハ短稈、早熟、多收、良質ナルノ特長ヲ有シ岩手縣地方ニ好適ス

岩手縣立農事試験場ニ於ケル小麥地方的試験地ノ成績ヲ表示スレバ次ノ如シ

小麥農林一號 資選一號 (比較品種)	越冬歩合	六〇%	出穂期	五月、二八日	成熟期	七月、七日	稈長	七九釐	穂長	八・三釐	五〇種間 穂數	八二本	耐病性	弱	白澁病	弱	倒伏難易	難
	六四	六、三	七、一	九五	七・三	六七	弱	強	中	中	難							

小麥農林一號 資選一號 (比較品種)	一升重	三六三	千粒重	三四五	硝子率	八〇%	製粉歩合	六七・六	粒色	赤褐	品質	上下	子實容量	二・三五七
	三四六	三一	三七	六六・〇	褐	中下	反當石	一・九一四	比率	一〇〇				

備考 一 本成績ハ昭和二―三年度二箇年平均ナリ但シ製粉歩合ハ昭和三年度ノ成績ナリ
二 比較品種資選一號ハ岩手縣ニ於ケル獎勵品種ナリ

二 小麥農林二號

(1) 來歴

「小麥農林二號」ハ大正十年農商務省農事試験場ニ於テ「ベルベット」ヲ母トシ「白神樂」ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ大正十五年其ノ雜種第五代種子ヲ岩手縣立農事試験場ニ於ケル農林省委託小麥地方的試験ノ供試材料トシテ配付シ爾來同試験地ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和三年十一月「東北五號」ナル系統名ヲ附シ關係縣ニ配付シテ其ノ地方的適否ニ關スル試験ヲ施行シ昭和四年九月「小麥農林二號」ト命名セルモノナリ

(2) 特性及成績

本品種ハ早熟ニテ耐雪性強ク大粒ニシテ品質優良且製粉歩合亦優レリ

岩手縣立農事試験場ニ於ケル小麥地方的試験地ノ成績ヲ表示スレバ次ノ如シ

小麥農林二號 資選一號 (比較品種)	越冬歩合	八〇%	出穂期	六月、二日	成熟期	七月、八日	稈長	九六釐	穂長	九・七釐	五〇種間 穂數	八六本	耐病性	弱	白澁病	中	倒伏難易	難
	六四	六、三	七、一	九五	七・三	六七	弱	強	中	中	難							

小麥農林二號 資選一號 (比較品種)	一升重	千粒重	硝子率	製粉歩合	粒色	品質	子實容量	
	三四六	四一瓦	三七	六六〇	褐	中下	反當石	比率
	三七二	四一瓦	九五%	七一・四	赤褐	上	二・二〇七	一一五
	三三三	三二	三四	七〇	黃白	中	一・九一四	一〇〇

備考 一 本成績ハ昭和二―三年度二箇年平均ナリ但シ製粉歩合ハ昭和三―四年度二箇年平均成績ナリ
二 比較品種資選一號ハ岩手縣ニ於ケル獎勵品種ナリ

三 春蒔小麥農林三號

(1) 來 歴

「春蒔小麥農林三號」ハ大正八年北海道農事試驗場ニ於テ「札幌春小麥」(普通種)ヲ母トシ「ペロトルカ」(硬粒種)ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ昭和二年其ノ雜種第八代種子ヲ同場ニ於ケル農林省委託小麥地方的試驗ノ材料ニ供用シ爾來同試驗地ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和五年四月「春蒔小麥農林三號」ト命名セルモノナリ

(2) 特性及成績

本品種ノ特性ハ次表ニ示スガ如ク北海道ニ於ケル獎勵品種「札幌春小麥」ニ類似セルモ赤銹病ニ對シテ強度ノ抵抗性ヲ有スルト共ニ尙黑銹病ニ對シテモ亦相當強キ抵抗性ヲ有シ且多收ニシテ北海道地方ニ

好適ス

北海道農事試驗場本場ニ於ケル小麥地方的試驗地ノ成績ヲ表示スレバ次ノ如シ

春蒔小麥農林三號 札幌春小麥九號 (比較品種) 札幌春小麥十號 (比較品種)	出穗期	成熟期	稈長	穗長	五〇種間 穗數	耐病性		倒伏難易
	七月七日	八月八日	一二五	八・九	九三	赤銹病	黑銹病	
	七月七日 <td>八月八日 <td>一二五 <td>八・九 <td>九三 <td>最 強</td> <td>強</td> <td>中</td> </td></td></td></td>	八月八日 <td>一二五 <td>八・九 <td>九三 <td>最 強</td> <td>強</td> <td>中</td> </td></td></td>	一二五 <td>八・九 <td>九三 <td>最 強</td> <td>強</td> <td>中</td> </td></td>	八・九 <td>九三 <td>最 強</td> <td>強</td> <td>中</td> </td>	九三 <td>最 強</td> <td>強</td> <td>中</td>	最 強	強	中
	七月八日 <td>八月九日 <td>一二八 <td>九・九 <td>八二</td> <td>弱</td> <td>弱</td> <td>中</td> </td></td></td>	八月九日 <td>一二八 <td>九・九 <td>八二</td> <td>弱</td> <td>弱</td> <td>中</td> </td></td>	一二八 <td>九・九 <td>八二</td> <td>弱</td> <td>弱</td> <td>中</td> </td>	九・九 <td>八二</td> <td>弱</td> <td>弱</td> <td>中</td>	八二	弱	弱	中
	七月一〇日 <td>八月五日 <td>一二五 <td>一〇・七 <td>九二</td> <td>弱</td> <td>最 弱</td> <td>中</td> </td></td></td>	八月五日 <td>一二五 <td>一〇・七 <td>九二</td> <td>弱</td> <td>最 弱</td> <td>中</td> </td></td>	一二五 <td>一〇・七 <td>九二</td> <td>弱</td> <td>最 弱</td> <td>中</td> </td>	一〇・七 <td>九二</td> <td>弱</td> <td>最 弱</td> <td>中</td>	九二	弱	最 弱	中

春蒔小麥農林三號 札幌春小麥九號 (比較品種) 札幌春小麥十號 (比較品種)	一升重	千粒重	硝子率	製粉歩合	粒色	品質	子實容量	
	三六五	三七瓦	五七%	七三%	赤褐	上	反當石	比率
	三六三 <td>三六</td> <td>四九</td> <td>七四</td> <td>赤褐 <td>上</td> <td>一・八〇五</td> <td>一〇八</td> </td>	三六	四九	七四	赤褐 <td>上</td> <td>一・八〇五</td> <td>一〇八</td>	上	一・八〇五	一〇八
	三三三	三二	三四	七〇	黃白 <td>中</td> <td>一・六七七</td> <td>一〇〇</td>	中	一・六七七	一〇〇
	三三三	三二	三四	七〇	黃白 <td>中</td> <td>一・六九三</td> <td>一〇一</td>	中	一・六九三	一〇一

備考 一 本成績ハ昭和二―四年度三箇年平均ナリ但シ製粉歩合ハ昭和三―四年度二箇年平均成績ナリ
二 比較品種札幌春小麥九號及札幌春小麥十號ハ共ニ北海道ニ於ケル從來ノ獎勵品種ナリ

北海道農事試驗場北見支場ニ於ケル小麥地方的試驗地ノ成績ヲ表示スレバ次ノ如シ

品種	出穂期	成熟期	稈長	穂長	五〇間 穂數	耐病性		倒伏難易
						赤銹病	黑銹病	
春時小麥農林三號	七月九日	八月六日	一一八	九・四	八七	最	弱	中
札幌春小麥九號 (比較品種)	七・一〇	八・六	一二四	一〇・二	七二	弱	弱	中
札幌春小麥十號 (比較品種)	七・一〇	八・六	一一六	一〇・七	八〇	弱	最弱	中

品種	一升重	千粒重	硝子率	製粉歩合	品質	子實容量	
						反當石	比率
春時小麥農林三號	三五八	三八	五四%	七五%	上	一・七五〇	一〇三
札幌春小麥九號 (比較品種)	三五七	四三	五三	七五	上	一・六九八	一〇〇
札幌春小麥十號 (比較品種)	三四三	三九	三六	六七	中	一・八一九	一〇七

備考 一 本成績ハ昭和二―四年度三箇年平均ナリ但シ製粉歩合ハ昭和三―四年度二箇年平均成績ナリ
二 比較品種札幌春小麥九號及札幌春小麥十號ハ北海道ニ於ケル從來ノ獎勵品種ナリ

四 小麥農林四號

(1) 來 歴

「小麥農林四號」ハ大正十三年愛媛縣立農事試驗場ニ於テ「優勝旗三四七」ヲ母トシ「廣島シプレー三號」ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ其ノ雜種第三代ニ付農林省農事試驗場鴻巣試驗地ニ於テ選抜ヲ加ヘ昭和二

年其ノ雜種第四代種子ヲ岡山縣立農事試驗場ニ於ケル農林省委託小麥地方的試驗ノ供試材料トシテ配付シ爾來同試驗地ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和四年「中國二號」ナル系統名ヲ附シ關係府縣ニ配付シテ其ノ地方的適否ニ關スル試驗ヲ施行シタル結果愈々其ノ優良ナルコトヲ實證シタルヲ以テ昭和六年十月「小麥農林四號」ト命名セルモノナリ

(2) 特性及成績

本品種ハ短稈、多收、良質ナル特長ヲ有ス

岡山縣立農事試驗場ニ於ケル小麥地方的試驗地ノ成績ヲ表示スレバ次ノ如シ

品種	出穂期	成熟期	稈長	穂長	五〇間 穂數	銹病抵抗力	倒伏難易
小麥農林四號 島田小麥	五・一	六・一一	一〇一	六・七	一二〇	強	易

品種	一升重	硝子率	製粉歩合	粒色	品質	子實容量		子實重量	
						反當石	比率	反當石	比率
小麥農林四號 島田小麥 (比較品種)	三五八	一八%	七〇・九	帶黃褐	中上	二・九〇五	一一二	一〇三・八	一一二
小麥農林四號 島田小麥	三五九	四八	六八・八	褐	中中	二・五八七	一〇〇	九二・七	一〇〇

備考 一 本成績ハ昭和三―五年度三箇年平均ナリ
二 比較品種島田小麥ハ岡山縣ニ於ケル獎勵品種ナリ

五 小麥農林五號

(1) 來 歴

「小麥農林五號」ハ大正十三年愛媛縣立農事試驗場ニ於テ「優勝旗三四七」ヲ母トシ「廣島シブレー三號」ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ其ノ雜種第三代ニ付農林省農事試驗場鴻巣試驗地ニ於テ選抜ヲ加ヘ更ニ昭和二年其ノ雜種第四代種子ヲ佐賀縣立農事試驗場ニ於ケル農林省委託小麥地方的試驗ノ供試材料トシテ配付シ爾來同試驗地ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和四年「西海五號」ナル系統名ヲ附シ關係縣ニ配付シテ地方的適否ニ關スル試驗ヲ施行シ昭和六年十一月「小麥農林五號」ト命名セルモノナリ

(2) 特性及成績

本品種ハ短稈ニシテ分蘗多ク且多收ニシテ黃銹病ニ對スル抵抗力強シ
佐賀縣立農事試驗場ニ於ケル小麥地方的試驗地ノ成績ヲ表示スレバ次ノ如シ

小麥農林五號 早小麥 (比較品種) 江島神力 (比較品種)	出穗期	成熟期	稈長	穗長	五〇糧間 穗數	耐病性		倒伏難易
						黃銹病	赤銹病	
四月、一七日	五月、二九日	八六	七・五	二六三	強	稍弱	難	
四月、一五日	五月、二八日	九九	七・一	二一二	中	中	難	
四月、一六日	五月、三〇日	一一六	九・二	一九三	最強	稍強	中	

小麥農林五號 早小麥 (比較品種) 江島神力 (比較品種)	一升重	千粒重	硝子率	製粉歩合	合歩合		粒色	品質	子實容量		子實重量	
					濕歩合	乾歩合			反當石	比率	反當貫	比率
三六五	三〇	二九%	七〇・九	二一・一	八・六	中	上	二・三二九	一〇七	八五・〇	一〇七	
三六五	二九	三七	六六・八	二四・六	九・九	下	下	二・一七五	一〇〇	七九・三	一〇〇	
三六九	三五	一九	七一・九	二三・六	九・三	上	上	二・二三九	一〇三	八二・七	一〇四	

備考 一 本成績ハ昭和三―五年度三箇年平均ナリ
二 比較品種早小麥及江島神力ハ從來ノ佐賀縣ニ於ケル獎勵品種ナリ

六 小麥農林六號

(1) 來 歴

「小麥農林六號」ハ大正十年農商務省農事試驗場ニ於テ「白達摩」ヲ母トシ「ベルベット」ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ大正十五年其ノ雜種第五代種子ヲ岩手縣立農事試驗場ニ配付シ爾來同場ニ於ケル農林省委託小麥地方的試驗地ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和三年十一月「東北一號」ナル系統名ヲ附シ關係縣ニ配付シテ其ノ地方的適否ニ關スル試驗ヲ施行シノ成績優良ナリシヲ以テ昭和七年二月「小麥農林六號」ト命名セルモノナリ

(2) 特性及成績

本品種ハ次表ニ示スガ如ク「小麥農林一號」ニ類似ノ品種ナルモ之ニ比シ更ニ短程、多蘖、多收ナルノ特長ヲ有ス

岩手縣立農事試驗場ニ於ケル小麥地方的試驗地ノ成績ヲ表示スレバ次ノ如シ

小麥農林六號 小麥農林一號 (比較品種)	越冬歩合	五六%	出穂期	五月、二九日	成熟期	七月、七日	稈長	七五	穗長	八・二	五〇糎間 穗數	九四本	耐病性	中	倒伏難易	難	脱粒難易	中
		五八		五月、二八		七、八		七八		七・九		八三	黃銹病 葉枯病	強中		難		中

小麥農林六號 小麥農林一號 (比較品種)	一升重	三七三	千粒重	三一	硝子率	七九%	製粉歩合	六九・八	含糞歩合	三・一	乾糞	一・一	粒色	赤褐	品質	中上	子實容量	二・〇四九	反當買比率	七五・〇	子實重量	一・〇五
		三六七		三四		七五		六九・〇	濕糞	三・〇	一・一		赤褐		上下	一・九五七		一・〇〇		七一・五		一・〇〇

備考 一 本成績ハ昭和二一五年度四箇年平均ナリ但シ製粉歩合及含糞歩合ハ昭和三一五年度三箇年平均成績ナリ
二 比較品種小麥農林一號ハ岩手縣ニ於ケル獎勵品種ニシテ短程、早熟ナル特性ヲ有ス

七 小麥農林七號

(1) 來 歴

「小麥農林七號」ハ大正七年農商務省農事試驗場ニ於テ「濠州十三號」ヲ母トシ「白チャボ」ヲ父トシテ人

工交配ヲ行ヒ大正十五年「鴻巢二十六號」ナル名稱ヲ附シテ千葉縣農事試驗場ニ於ケル農林省委託小麥地方的試驗ノ供試材料トシテ配付シ同年度ヨリ同試驗ノ品種豫備試驗ニ編入サレ昭和三年度ヨリ品種選抜試驗ニ供用シ試驗ヲ行ヒタル結果優良ト認メラレ昭和五年度ヨリ「關東一號」ナル系統名ヲ附シ關係府縣ニ配付シ其ノ地方的適否ニ關シ試驗シタル後ソノ成績ニヨリ昭和七年九月「小麥農林七號」ト命名セルモノナリ

(2) 特性及成績

本品種ハ良質、早熟、短程、多收ナルノ特長ヲ有ス

千葉縣農事試驗場ニ於ケル小麥地方的試驗地ノ成績ヲ表示スレバ次ノ如シ

小麥農林七號 赤澄摩七號 (比較品種)	耐寒性	強	出穂期	四月、二五日	成熟期	六月、一〇日	稈長	八四	穗長	一〇・二	五〇糎間 穗數	一三四本	耐病性	極強	倒伏難易	難	脱粒難易	中
		稍強		四、二八		六、一一		七七		八・六		一四〇	赤銹病 葉枯病	強		難		易

小麥農林七號 赤澄摩七號 (比較品種)	一升重	三六一	千粒重	三六	硝子率	九五%	製粉歩合	七四・一	含糞歩合	三・七	粒色	黃白	品質	上	子實容量	二・三九五	反當買比率	八六・八	子實重量	一一二
		三三七		二一		四四		六四・六		二・七〇		褐		中下	二・一一七		一〇〇		七一・六	

備考 一 本成績ハ昭和二一六年度五箇年平均ナリ
 二 比較品種赤達摩七號ハ千葉縣ニ於ケル獎勵品種ニシテ特ニ短程、早熟ノモノナル故同品種トノ比較ニ於テ小麥農林七號ガ本表ニ見ル如ク成熟期ニ差少ク又稈長ガ却ツテ高キ結果ヲ示セルモノナリ

八 小麥農林八號

(1) 來 歴

「小麥農林八號」ハ大正十年北海道農事試驗場ニ於テ「トルキーレットII」ヲ母トシ「白肌二號」ヲ父トシテ人交交配ヲ行ヒ大正十五年其ノ雜種第五代種子ヲ同場ニ於ケル農林省委託小麥地方的試驗ノ材料ニ供用シ爾來同試驗地ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和五年度ヨリ「北海二六號」ナル系統名ヲ附シ試驗ヲ繼續シタル結果優良ト認メ昭和八年五月「小麥農林八號」ト命名セルモノナリ

(2) 特性及成績

本品種ハ品質優良ニシテ赤銹病抵抗力ノ強キ特長ヲ有ス
 北海道農事試驗場ニ於ケル小麥地方的試驗地ノ成績ヲ表示スレバ次ノ如シ

小麥農林八號 赤銹不知一號 (比較品種) 赤皮赤一號 (比較品種)	越冬歩合	出穂期	成熟期	稈長	穂長	五〇種間 穗數	赤銹病抵 抗性	倒伏難易
九六・七%	六月、一九日	七月、二五日	一二・六	八・二	一一・五	強	中	
九八・三%	六月、一七	七月、二三	一二・八	八・二	一一・七	強	中	
九三・一%	六月、一九	七月、二六	一二・四	八・三	一一・一	強	中	

小麥農林八號 赤銹不知一號 (比較品種) 赤皮赤一號 (比較品種)	一升重	千粒重	硝子率	製粉歩合	含糞歩合		粒色	品質	子實容量 反當石一比率	子實重量 反當貫一比率
					濕糞	乾糞				
三七・一	三七・五	七二・%	七九・六	二八・四	一一・一	琥珀	上上	一・九三四	八七	七二・一
三六・九	三三	四五	七七・七	二六・四	一〇・四	赤褐	中上	二・二二六	一〇〇	八二・一
三六・九	三七	三六	七一・九	二九・六	一一・四	赤褐	上	一・七六三	七九	六六・二

備考 本成績ハ昭和二一六年度五箇年(出穂期及成熟期ハ昭和五年度ヲ除ク四箇年)平均ナリ但シ含糞歩合及製粉歩合ハ昭和五—六年度二箇年平均成績ナリ

九 小麥東海三號

(1) 來 歴

「小麥東海三號」ハ大正十三年愛媛縣立農事試驗場ニ於テ「優勝旗三四七」ヲ母トシ「廣島シブレ一三號」ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ其ノ雜種第三代ニ付農林省農事試驗場鴻巣試驗地ニ於テ選抜ヲ加ヘ昭和四年其ノ雜種第六代種子ヲ愛知縣立農事試驗場ニ於ケル農林省委託小麥地方的試驗ノ供試材料トシテ配付シ爾來同試驗地ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和六年ヨリ「東海三號」ナル系統名ヲ付シ關係府縣ニ配付シテ其ノ地方的適否ニ關シ試驗シタル結果ニ依リ昭和八年十月「小麥東海三號」ト命名セルモノナリ

(2) 特性及成績

本品種ハ短稈、早熟、多收ナルノ特長ヲ有ス

愛知縣立農事試驗場ニ於ケル小麥地方的試驗地ノ成績ヲ表示スレバ次ノ如シ

小麥東海三號 赤坊主 (比較品種)	出穗期	五月、三日	成熟期	六月、一二日	稈長	八〇	穗長	八・六	五〇穗間 穗數	一二二	耐病性 赤銹病 莖萎縮病	倒伏難易
	五、八	六、一四	一〇四	八・三	一〇九	強	稍弱	稍弱	難			

小麥東海三號 赤坊主 (比較品種)	一升重	三五八	千粒重	三〇	製粉歩合	七〇・二	粒色	褐	品質	上下	子實容量 反當石 比率	子實重量 反當貫 比率
	三五〇	三一	六八・三	褐	中上	二・七〇五	一一五	九七・三	一〇〇	八〇・八		

備考 一 本成績ハ昭和五―七年度三箇年平均ナリ但シ製粉歩合ハ昭和六―七年度二箇年平均成績ナリ
二 比較品種赤坊主ハ愛知縣ニ於ケル獎勵品種ナリ

一〇 小麥四國三號

(1) 來 歴

「小麥四國三號」ハ大正十三年愛媛縣立農事試驗場ニ於テ「優勝旗三四七」ヲ母トシ「廣島シブレ一三號」ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ大正十五年其ノ雜種第三代ヲ同場ニ於ケル農林省委託小麥地方的試驗ニ編入シ爾來同試驗地ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和六年ヨリ「四國三號」ナル系統名ヲ附シ關係縣ニ配付シ其ノ地方的適否ニ關シ試驗ヲ施行シ昭和九年十一月「小麥四國三號」ト命名セルモノナリ

(2) 特性及成績

本品種ハ早熟、良質ナリ

愛媛縣立農事試驗場ニ於ケル小麥育種地方試驗地ノ成績ヲ表示スレバ次ノ如シ

小麥四國三號 伊賀筑後 (比較品種)	出穗期	四月、三〇日	成熟期	六月、一四日	稈長	一〇二	穗長	七・三	五〇穗間 穗數	一八三	耐病性 白澁病 赤澁病	倒伏難易	脫粒難易
	五、一	六、一六	一一七	一〇・三	一七八	中	弱	強		易			

小麥四國三號 伊賀筑後 (比較品種) 江島神力 (比較品種)	一升重千粒重	硝子率	製粉歩合	濕麩含量	粒色	品質	子實容量		子實重量	
							反當石	比率	反當貫	比率
三七九 _g	三一 _g	五一 _%	七一 _%	二七 _%	褐	上	二・四三	九七	九二 _貫	一〇四
三五三	二八	三九	六七 _%	二六 _%	褐	中	二・五一	一〇〇	八八 _貫	一〇〇
三七五	三二	二〇	七一 _%	二六 _%	褐	中	二・五四	一〇一	九五 _貫	一〇七

備考 一 本成績ハ昭和六―八年度三箇年平均ナリ
二 比較品種伊賀筑後及江島神力ハ愛媛縣ニ於ケル獎勵品種ナリ

一一 小麥東北三四號

(1) 來 歴

「小麥東北三四號」ハ大正十三年農商務省農事試驗場ニ於テ「ターキーレッド」ヲ母トシ「フルツ達摩」ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ昭和三年農林省農事試驗場鴻巣試驗地ヨリ其ノ雜種第四代種子ヲ岩手縣立農事試驗場ニ於ケル農林省委託小麥地方的試驗ノ供試材料トシテ配付シ爾來同試驗地ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和七年ヨリ「東北三四號」ナル系統名ヲ附シ關係縣其ノ他ニ配付シ其ノ地方的適否ヲ試驗シ昭和九年十一月「小麥東北三四號」ト命名セルモノナリ

(2) 特性及成績

本品種ハ耐寒耐雪性稍強キ矮性種ナリ

岩手縣立農事試驗場ニ於ケル小麥育種地方試驗地ノ成績ヲ表示スレバ次ノ如シ

小麥東北三四號 小麥農林一號 (比較品種)	越冬歩合	出穂期	成熟期	稈長	穗長	五〇糶間 穗數	耐病性	倒伏難易	脫粒難易
八四 _%	六月	七月、一三日	五二 _{cm}	九 _{cm}	一二一本	中	白澁病 赤銹病 葉枯病	難	中
六八 _%	五、二九	七、七	六七	七 _{cm}	九〇	弱	中	難	中難

小麥東北三四號 小麥農林一號 (比較品種)	一升重千粒重	硝子率	製粉歩合	含麩歩合		粒色	品質	子實容量		子實重量	
				濕麩	乾麩			反當石	比率	反當貫	比率
三五四 _g	二九 _g	七六 _%	七二 _%	二八 _%	二一 _%	褐	中上	二・四二二	一三九	七六 _貫	一二八
三六二	三〇	六八	六八 _%	二六 _%	八一〇 _%	褐	中上	一・七四六	一〇〇	五九 _貫	一〇〇

備考 一 本成績ハ昭和六―八年度三箇年平均ナリ但シ製粉歩合及含麩歩合ハ昭和七年度ノ成績ナリ
二 比較品種小麥農林一號ハ岩手縣ニ於ル獎勵品種ナリ

一二 小麥關東二號

(1) 來 歴

「小麥關東二號」ハ大正十年農商務省農事試驗場ニ於テ「白達摩」ヲ母トシ「ベルベット」ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ大正十五年同場ヨリ其ノ雜種第五代種子ヲ千葉縣農事試驗場ニ於ル農林省委託小麥地方的試驗ノ供試材料トシテ配付シ爾來同試驗地ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和五年ヨリ「關東二號」ナル系統名ヲ附シ關係府縣其他ニ配付シ其ノ地方的適否ヲ試驗シタル結果昭和九年十二月「小麥關東二號」ト命名セルモノナリ

(2) 特性及成績

本品種ハ耐寒性强キ多收ナル品種ナリ

千葉縣農事試驗場ニ於ケル小麥育種地方試驗地ノ成績ヲ表示スレバ次ノ如シ

小麥關東二號 赤達摩七號 (比較品種) 小麥農林七號 (比較品種)	耐寒性	出穂期	成熟期	稈長	穗長	五〇穗間 穗數	赤銹病 黃銹病 立枯病 赤霉病	倒伏 難易	脫粒 難易
極強	極強	五月三日	六月一日	八二	七・二	一三一	強	中	稍難
稍強	稍強	五、三	六、一〇	七二	八・四	一三六	強	中	難
極強	極強	四、三〇	六、一二	八六	一〇・〇	一六二	極強	難	難

小麥關東二號 赤達摩七號 (比較品種) 小麥農林七號 (比較品種)	一升重 千粒重	硝子率	製粉歩合	濕麩含量	粒色	品質	子實容量		子實重量	
							反當石	比率	反當貫	比率
三六五	三一瓦	三〇%	六九・一	二七・八	褐	中上	二・九三八	一一六	一〇七・五	一一六
三四三	二一	四五	六五・六	三〇・七	褐	中下	二・一六〇	八五	七四・一	八〇
三六五	三六	九五	七四・二	三九・五	黃白	上下	二・五三八	一〇〇	九二・六	一〇〇

備考 一 本成績ハ昭和四一八年度五箇年平均ナリ

二 比較品種赤達摩七號及小麥農林七號ハ千葉縣ニ於ケル獎勵品種ナリ

三 小麥増殖ニ關スル施設一覽

附
錄
ノ
二

小麥優良品種増殖普及助成事業

昭和二年度以降本省ニ於テ經費ヲ計上シ小麥優良品種増殖普及助成事業トシテ實施シ來リシ小麥ノ原種圃設置及採種圃經營竝ニ指導監督技術員設置助成事業ハ既記ノ如ク昭和七年度小麥増殖ニ關スル新施設ノ實施ト共ニ之ヲ廢止シタルガ右事業實施ノ概要左ノ如シ

年度	原種圃ニ關スル事項			採種圃ニ關スル事項			本省指定事業		助成金 交付額 合計
	助成金 交付道 縣數	道縣ノ 經費 算額	助成金 交付額	原種圃 作付面 積	種子配 付數量	助成金 交付道 縣數	道縣ノ 經費 算額	助成金 交付額	
昭和 二年	九	一六、〇三三	七、八四〇	八六・五	一〇、七	四	三、二五〇	一、五五〇	九、〇〇〇
同三年	二五	三、七四六	一、七〇〇	二二・二	二、〇〇一	一	一、〇七〇	五、八七〇	一七、〇〇〇
同四年	二七	四、六三〇	二、〇六〇	二一・五	三、一〇四	一六	一、〇七五	九、一〇〇	二二、九〇〇
同五年	二九	四、三三〇	二、四八〇	二〇・五	三、五三二	一三	一、八六三	一〇、一〇〇	二一、六〇〇
同六年	三	四九、〇三	一五、七二〇	—	—	二	一、九七二	一、〇〇〇	一七、七二〇
同七年	三	一一、一九〇	—	—	—	二	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一三、七二〇
									五、八四〇

- 備考
- 一 採種圃ニ關スル事項ハ小麥採種圃指導監督技術員ヲ設置セル道縣ノモノノミトス
 - 二 採種圃ヨリノ種子配付數量ハ第一次及第二次以下ノ各階級採種圃ヨリ直接農家ニ配付セル數量ノ合計トス
 - 三 昭和七年度ノ經費算額及助成金交付額ハ四月ヨリ六月迄ノ三箇月分トス
 - 四 本省指定事業ハ小麥優良品種増殖普及助成金交付要項ニ基ク一般助成事業ノ外特ニ本省ニ於テ事業ヲ指定シ助成金ヲ交付シテ實施セシメタルモノナリ

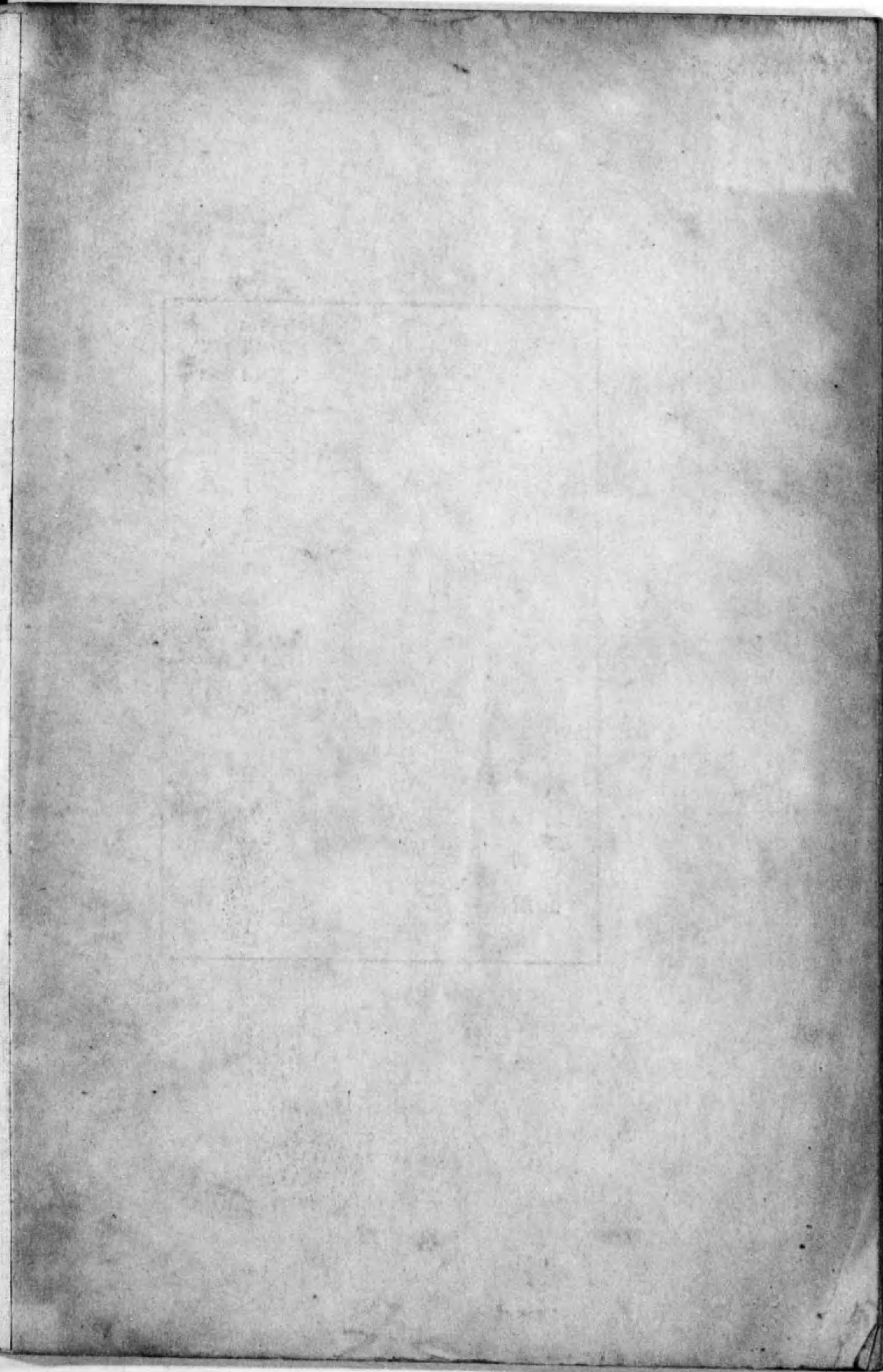
農事改良資料目錄

番 號	名 稱	刊 行 年 月
第 一	優良農用器具機械=關スル調査	昭和四年 四 月
第 二	種藝=關スル協議會要錄	同 年 六 月
第 三	穀物検査事業要覽(第六號)	同
第 四	穀物火力乾燥裝置ノ概要	同 年 七 月
第 五	道府縣農事試驗場=於ル陸稻=關スル試驗成績 概要	同 年 十 月
第 六	主要食糧農產物改良増殖獎勵事業要覽	同 年 十二 月
第 七	昭和二年度農具共同利用=關スル調査	昭和五年 三 月
第 八	肥 料 要 覽	同
第 九	病菌害蟲驅除豫防協議會要錄(昭和四年四月開 催)	同
第 一〇	昭和三年輸移出入植物検査統計(第五號) 附 輸移出入植物病菌害蟲調査研究事業概要	同
第 一 一	麥其ノ他穀物要覽	同
第 一 二	本邦内地=於ケル麥酒用大麥及麥酒=關スル調 査	同
第 一 三	豆 類 要 覽	同
第 一 四	桃葉蜂=關スル研究	同
第 一 五	動力糶摺選別機比較審査成績	同
第 一 六	工藝農產物要覽	同
第 一 七	水稻栽培過程別時期=關スル調査	同 年 十 月
第 一 八	農産主任技術官會議要錄	昭和六年 三 月
第 一 九	穀物検査事業要覽(第七號)	同
第 二〇	稻熱病ノ防除=關スル試驗研究成績	同
第 二 一	茶 業 要 覽	同
第 二 二	農業用小型發動機審査成績	同
第 二 三	昭和四年輸移出入植物検査統計(第六號) 附 輸移出入植物病菌害蟲調査研究事業概要	同
第 二 四	優良農用機械=關スル調査	同
第 二 五	主要食糧農產物改良増殖獎勵事業要覽	同

番 號	名 稱	刊 行 年 月
第 五 二	螟蟲=關スル研究(第一報)	昭和八年 三 月
第 五 三	苧麻ノ増殖獎勵=就テ	同
第 五 四	茶樹耕種梗概	同
第 五 五	昭和六年輸移出入植物検査統計(第八號)	同
第 五 六	主要食糧農産物改良増殖獎勵事業要覽	同
第 五 七	動力精米機比較審査成績	同
第 五 八	世界=於ケル小麥事情	同
第 五 九	穀物検査事業要覽(第九號)	同
第 六 〇	園 藝 要 覽	同
第 六 一	小 麥 要 覽	同
第 六 二	農産物検査概要	同
第 六 三	穀 物 要 覽	同
第 六 四	稻熱病ノ防除=關スル試験研究成績(第三報)	同
第 六 五	工藝農産物要覽	同
第 六 六	稻熱病ノ防除=關スル試験研究成績(第四報)	同 年 六 月
第 六 七	貯藏小麥ノ主ナル害蟲ト其ノ防除法	同 年 七 月
第 六 八	日本産介殼蟲科デアスビ亞科=關スル研究(其七)歐文	同 年 八 月
第 六 九	蔬菜及果樹ノ品種改良=關スル調査	同 年 十 月
第 七 〇	最近=於ケル歐羅巴諸國ノ穀物貿易制限策	同 年 十 二 月
第 七 一	優良農用器具機械=關スル調査	昭和九年 二 月
第 七 二	農産物検査概要	同 年 三 月
第 七 三	農産物検査事業要覽(第十號)	同
第 七 四	小麥増殖獎勵協議會要録	同
第 七 五	昭和七年輸移出入植物検査統計(第九號) 附 輸出入植物病菌害蟲調査研究事業概要	同
第 七 六	穀 物 要 覽	同
第 七 七	柑橘選果機=關スル試験成績	同

番 號	名 稱	刊 行 年 月
第 二 六	道府縣=於ケル農産物改良増殖=關スル獎勵事項	昭和六年 三 月
第 二 七	道府縣農事試験場=於ケル小麥=關スル試験成績概要	同
第 二 八	園 藝 要 覽	同
第 二 九	Japanese Coccidae I. The genus Phenacaspis II. The genus Kermes in Japan	同
第 三 〇	稻熱病=關スル研究	同 年 四 月
第 三 一	水稻栽培=於ケル慣行施肥量及施肥期=關スル調査	同 年 三 月
第 三 二	稻熱病防除ノ一方法トシテ種粳ノ消毒及藁處分	同 年 十 二 月
第 三 三	植物検査官會議要録	昭和七年 三 月
第 三 四	豆 類 要 覽	同 年 二 月
第 三 五	麥其ノ他穀物要覽	同 年 三 月
第 三 六	穀物検査事業要覽(第八號)	同
第 三 七	道府縣農事試験場=於ケル大豆=關スル試験成績概要	同
第 三 八	主要食糧農産物改良増殖事業要覽	同
第 三 九	農業用器具機械並共同作業場普及調査	同
第 四 〇	昭和五年輸移出入植物検査統計(第七號)	同
第 四 一	優良農用器具機械=關スル調査	同
第 四 二	蜜柑刺粉蝨ノ天敵「シルベストリ」小蜂=關スル研究(第一報)	同
第 四 三	稻熱病防除=關スル試験研究成績(第二報)	同
第 四 四	綠肥作物栽培分布圖	同
第 四 五	噴霧器=關スル試験成績	同
第 四 六	紫雲英ノ菌核病ト其ノ防除	同 年 七 月
第 四 七	稻熱病=關スル研究(第二報)	同 年 十 月
第 四 八	小麥其ノ他麥類ノ菌核病(雪腐)ト其ノ防除	同
第 四 九	小麥ノ増殖獎勵=ツイテ	同
第 五 〇	農産課關係法規	同
第 五 一	小麥ノ銹病ト其ノ防除	昭和八年 一 月

142
717



終